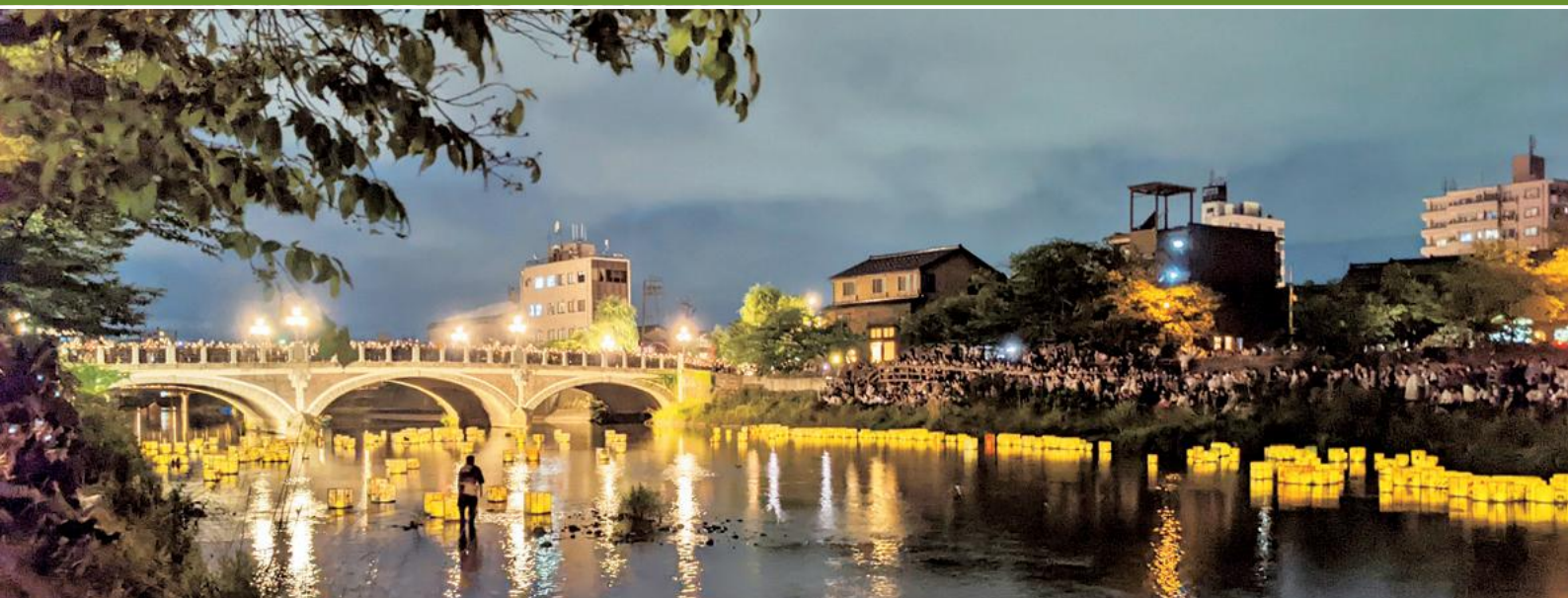


かなざわ 市議会だより

kanazawa city council

No.296

令和4年(2022年)
8月1日発行



金沢百万石まつりの様子 上：4年ぶりに開催された加賀友禅灯籠流し 下：3年ぶりに開催された百万石行列・入城祝祭

発行／金沢市議会

編集／議会広報委員会

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL (076) 220-2392 FAX (076) 260-7190

〈ホームページ〉

[金沢市議会](#) [検索](#)

または、こちらをご覧ください。⇒



目次

- ・ 6月定例会議会の概要等 P.2
- ・ 本会議の発言から P.3～P.17
- ・ 常任委員会連合審査会 P.18～P.21
- ・ 常任委員会の要望事項 P.22～P.23
- ・ 審議結果、議員別賛否一覧 P.24～P.25
- ・ 常任委員会の活動状況 P.26～P.27
- ・ 議会日誌、9月定例会議会の日程 P.28

令和4年度 金沢市議会 6月定例会の概要

令和4年度金沢市議会6月定例会が6月2日から21日までの20日間、開催されました。

◆6月2日 議案上程・提案理由説明・質疑・委員会審査・採決

在職20年の議員4名の表彰が行われた後、村山市長から特別給付金や宿泊業への支援など総額15億1,190万円の補正予算に係る議案（その1）、並びに親和力で奏でる金沢の具現化に関する経費に係る総額84億1,474万4,000円の補正予算及び諸江児童館の新設に伴う金沢市児童館条例の一部改正案などの議案（その2）が提案され、提案理由の説明が行われた後、議案（その1）について、2人の議員が質疑を行いました。また、総務・経済環境・市民福祉の各常任委員会が開催され、議案（その1）の審査が行われました。その後、採決が行われ、議案（その1）は全会一致をもって原案のとおり可決されました。

表彰を受けた永年（20年）在職議員

宮崎 雅人、清水 邦彦、黒沢 和規、松村 理治

◆6月10日、13日、14日 質疑・一般質問

10日には、6人の議員が代表質問を行いました。13日・14日には、16人の議員が質疑や一般質問を行いました。

◆6月15日 委員会審査

15日には、5つの常任委員会が開催され、議案（その2）等の審査が行われました。

◆6月17日 常任委員会連合審査会

17日には、5常任委員会による連合審査会が開催され、議案（その2）及び所管事項の質疑等が行われました。

◆6月20日 委員会審査（総括質疑・討論・採決）

20日には、5つの常任委員会が開催され、議案等の審査が行われました。

◆6月21日 討論・採決

議案（その2）等に関する各常任委員会の委員長報告の後、討論・採決が行われ、この日追加提案された人事案件を含め、市長提出の議案各件は、全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決されました。議員提出の議会議案9件は、7件が可決、2件が否決され、陳情1件は、不採択となりました。

市長の施政方針（要旨）

◆新型コロナウイルス感染症対策

職員の増員や、迅速な情報収集と検査体制の充実に努めるほか、感染拡大を未然に防止するための集中的な検査や、濃厚接触者への抗原検査キットの配布など、感染時の早期受診につなげる。

◆安心して暮らせる福祉社会の形成

次期長寿安心プランの策定に向けた実態調査を行うほか、南部地区における健康づくりの拠点となる泉野福祉健康センターについて、本年8月に供用を開始する。

◆防災・減災体制の強化

石川中央都市圏の消防本部と連携し、実践的な人命救助訓練に取り組むほか、白山野々市広域消防本部と本年度中に救急車の相互乗り入れを開始するなど体制強化を図る。東長江町地内における土砂災害については、年度内の本格復旧を目指す。

◆誰もが活躍できる共生社会の推進

障害のある人への差別の解消など、共生社会を推進するための宣言に向けた準備を進めるほか、重度心身障害者等の移動支援を強化するなど、障害のある人の社会参加を促進する。

◆デジタル戦略の推進

市民サービス等の向上を図るため、児童扶養手当の申請窓口でのデジタル受付を開始するほか、人流データを活用した観光スポットの混雑時マップを観光公式サイトで配信する。また、デジタル変革を推進するための新たな計画の策定に着手する。

◆文化都市金沢

あらゆる世代の心の豊かさを育んでいきたいとの思いから、幅広い文化を身近に体験できる機会を創出していく。令和5年秋のいしかわ百万石文化祭2023に向け、県や文化団体等との連携を図りながら、準備を着実に進め、開催に向けた機運の醸成を図る。

◆まちなかの再生に向け

商業活動の中核を担う金沢駅から香林坊・片町に至る都心軸の今後の在るべき姿について、（独法）都市再生機構と連携し、分析・調査を実施するほか、文化施設を核とした周辺地区の回遊性向上を目指し、まちなかでのアート作品の展示棟を行うモデル事業を実施する。



本会議の 発言から

6月2日(木)、6月10日(金)、13日(月)、
14日(火)にかけて、質疑や一般質問を行いました。

6月2日(木)

- ・高村 佳伸 議員 (自民党) P.3
- ・森尾 嘉昭 議員 (日本共産党) P.3

6月10日(金)

- ・横越 徹 議員 (自民党) P.4
- ・中西 利雄 議員 (みらい金沢) P.5
- ・秋島 太 議員 (公明党) P.6
- ・黒沢 和規 議員 (市議会自民党) P.7
- ・広田 美代 議員 (日本共産党) P.8
- ・栗森 慨 議員 (金沢保守) P.9

6月13日(月)

- ・野本 正人 議員 (自民党) P.10
- ・麦田 徹 議員 (みらい金沢) P.10
- ・稲端 明浩 議員 (公明党) P.11
- ・橋本 光生 議員 (自民党) P.11
- ・大桑 初枝 議員 (日本共産党) P.12
- ・高 誠 議員 (自民党) P.12
- ・新谷 博範 議員 (金沢保守) P.13
- ・喜多 浩一 議員 (自民党) P.13

6月14日(火)

- ・上田 雅大 議員 (自民党) P.14
- ・喜成 清恵 議員 (みらい金沢) P.14
- ・森尾 嘉昭 議員 (日本共産党) P.15
- ・荒木 博文 議員 (自民党) P.15
- ・熊野 盛夫 議員 (創生かなざわ) P.16
- ・北 幸哉 議員 (多聞会) P.16
- ・玉野 道 議員 (創生かなざわ) P.17
- ・福田 太郎 議員 (自民党) P.17

※掲載している内容は、発言した議員本人が作成した
原稿をもとにしています。



自由民主党金沢市議員会
高村 佳伸 議員



住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費及び 子育て世帯生活支援特別給付金事業費について

問

コロナ禍に加え、原材料価格の高騰など、
市民生活も先行き不透明な中、今回、国の動き
に呼応して住民税非課税世帯及び児童扶養手当
受給世帯等に対し、特別給付金が迅速かつ確実
に行き渡ることが求められるが、どのように対
応していくのか。

答

対象となる世帯に確実に支給できるよう、
令和4年度課税が確定後、対象世帯に確認書を発
送し、その返送を受けて、7月下旬からの支給を
開始したい。また、子育て世帯に対しては、児童
手当等の口座情報を基に、原則、申請不要なプッ
シュ型で支給するなど、いずれの給付金も迅速か
つ正確に支給準備を進め、生活に困っている市民
への速やかな支援につなげていきたい。(市長)

【質疑事項】(一括質問方式)

- 1 今回の補正予算における市長の思いについて
- 2 五感にごちそう金沢宿泊キャンペーン事業費について
- 3 住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費及び子育て世
帯生活支援特別給付金事業費について



日本共産党金沢市議員団
森尾 嘉昭 議員



五感にごちそう金沢宿泊キャンペーン事業に ついて

問

この事業は、令和2年度、3年度、4年
度と続き、総額36億円余の予算に上っている
が、効果について検証作業を行うよう求める。
また、大手や人気宿泊関係施設に集中しないか
との指摘があるが、配慮しているか。

答

コロナ禍で不況にある宿泊施設、飲食業
及び観光関連事業者への幅広い経済効果があっ
た。中小の事業者にも配慮するよう改善してい
る。(市長)

【質疑事項】(一問一答方式)

- 1 五感にごちそう金沢宿泊キャンペーン事業費について
- 2 住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費について
- 3 子育て世帯生活支援特別給付金事業費について



自由民主党金沢市議員会

横越 徹 議員 【代表質問】



新市長の決意と覚悟は

問 3月の市長選挙において多くの市民の支持を受け、コロナ禍の大変な時期に市政のかじ取りを託された村山市長の決意と覚悟のほどを聞く。

答 国や地方行政に携わってきた経験や金沢を内と外から見ることで自身の強みを生かして、市民の負託に応えるべく、未来を見据えた金沢のまちづくりとあらゆる世代にわたる市民の幸せのために、全力で市政に取り組んでいく。
(市長)

オウム真理教対策について

問 浅野町校下の住民を中心とした金沢オウム真理教対策協議会では、365日24時間体制でパトロールを行っているが、平成7年の地下鉄サリン事件から四半世紀以上が経過しているため、事件が次第に風化し、市民の関心も薄れ、このまま問題が解決しないことを心配しているが、現状認識と今後の対応を聞く。

答 事件の風化を懸念しており、対策協議会の活動を積極的に支援するとともに、引き続き、国に対して立入検査等をはじめとする観察処分を厳格に行うことを強く要請し、地域住民の不安解消に全力を尽くしたい。また、馳知事に対策協議会顧問として協力してもらえることは非常に心強く、知事とは定期的な意見交換などを通じて情報を共有するとともに、さらなる連携強化に努めていきたい。
(市長)

いしかわ百万石文化祭2023について

問 来年秋、県内全域で開催される国民文化祭「いしかわ百万石文化祭2023」に対する期待と抱負を聞く。

答 国内最大規模の文化の祭典が開催されることは、本市の重層的で個性豊かな文化の魅力を発信するとともに、市民が改めて文化に触れる絶好の機会になると考えている。この大会を契機として本市の文化資源にさらなる磨きをかけるとともに、新たな文化芸術の醸成や担い手、支え手の育成につながるよう、県や関係団体と緊密に連携しながら開催準備をしっかりと進めていきたい。
(市長)

都ホテル跡地について

問 都ホテル跡地は、更地となって3年半以上が経過する。外国人観光客の受入れが再開され、まちなかに観光客の姿があふれる日も近いと思うが、駅に降り立った観光客が目にする白いフェンスで囲まれた都ホテル跡地について、市はどのように関わっていく考えか。

答 土地を所有する近鉄不動産とは、担当部局間で常に情報を共有しており、先方からはアフターコロナを見据えて金沢の玄関口にふさわしい開発の意向があると聞いている。コロナ禍の状況にあり、開発の時期までは明言されていないが、本市にとっても今後のまちづくりを見据えた大切な場所であり、地元の強い思いを伝え、開発の方向性が早期に示されるよう働きかけていきたい。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 補正予算に込めた市長の思いについて
- 2 新型コロナウイルス感染症対策と地域経済対策について
- 3 中長期を見据えたまちづくりについて
- 4 文化都市金沢の推進について
- 5 市民の安全・安心の確保について



みらい金沢

中西 利雄 議員 【代表質問】



都市像について

問 本市の歴史、伝統、学術、文化を考えると、ハード面では50年先、100年先までを見据えた長期的な観点に立った構想が必要になると思われる。このような構想の策定を行う考えはあるのか、また、都市像に基づく計画は10年程度になると思うが、どのような考えで臨むのか。

答 金沢市基本構想にあるような、先人たちが培ってきた普遍的なまちづくりの考え方や理念は、遠い将来を見据えた時間軸で踏襲すべきと考える。一方、人口減少、少子高齢化の進展をはじめ、コロナ禍における価値観の変容や情報通信技術の進展など、市を取り巻く環境が急速に変化していることを踏まえると、新たな都市像は10年後の目指すべき姿を描くものと考えている。 (市長)

米農家への支援について

問 コロナ禍による外食産業の落ち込み等による米価の下落に加え、資材高、原油高といった三重苦により米農家が大変な事態に陥っている。個人の努力だけで乗り切れるのかとの声も聞かれますが、本市はどのような対応を考えているのか。

答 国全体として厳しい状況になっていると認識しており、これまでも支援を行ってきている。今回、一層の経営安定化を図るため、価格の低下や自然災害での減収をはじめ、経営努力では避けられない収入減少を補填する農業経営収入保険に、新規あるいは継続して加入する方への支援制度を創設する。今後も農業経営の安定化に向けて支援していきたい。 (市長)

情報バリアフリー環境推進検討費について

問 コロナ禍による社会的孤立や、情報発信がインターネット経由になることで、障害のある人となない人の情報格差が広がっているのではないかと感じている。今定例月議会に障害の特性に合わせた情報発信の手法等を検討する「情報バリアフリー環境推進検討費」が計上されているが、障害のある方の情報取得の促進に向けた考えを聞く。

答 デジタル化の進展により、障害のある人が取り残されることのないよう、十分な配慮が必要である。特に障害の種類や特性に合わせた情報発信の手法を導入したいと考えており、情報に関する専門家と聴覚や視覚などに障害のある人で構成する専門委員会を設置し、新たな情報通信機器やICTをはじめとする先進技術を活用した支援策を検討したい。 (市長)

県市の連携について

問 知事と市長が会い、胸襟を開いて様々な課題について話をすべきと考え、再三にわたって前市長にお願いしてきたが、前市長在職中には1回だけ開催された。トップ同士が考え方をすり合わせ、それぞれが持つネットワークを生かして、市民・県民の将来を見据えた政策を実施すべきと考えるが、どうか。

答 知事との間では、個人的に連絡を取り合うようなことができる仕組みが築けていると思っている。県・市が連携すべき施策の実現には、それぞれの担当部署での議論の積み重ねによるボトムアップとともに、首長の合意によるトップダウンも重要である。県の協力がこれから必要となる本市の課題もあるので、様々な機会を捉えて意見を交わしていきたい。 (市長)

【質問事項】 (一括質問方式)

- 1 市長の公約と政策予算について
- 2 まちづくりにおける課題について
- 3 障害者施策について
- 4 他の自治体や国との連携について



公明党金沢市議員会

秋島 太 議員 【代表質問】



都市構想について

問 世界に誇る文化都市金沢推進本部の設置と、今年度中に3～4回協議を重ねて情報を共有し、来年度の新規施策に反映させる方針が発表された。今後の金沢のまちづくりにおける長期構想についてどのように考えているのか。

答 先人たちが長きにわたって培ってきた普遍的なまちづくりの考え方や理念などは、当然、踏襲すべきものと考えている。一方で、人口減少、少子高齢化社会の進展をはじめ、コロナ禍における価値観の変化や、DXをはじめとする情報通信技術の発展など、市政を取り巻く環境が急速に変化していることを踏まえ、10年後の目指すべき姿を描く、新たな都市像について検討を進めたい。
(市長)

本市公共交通の在り方について

問 公共交通の幹の部分だけでは、自家用車から公共交通への転換は進まないと考えが、日常の足と言うべきラストワンマイルやフィーダー交通といった地域の交通網の構築に対する市長の考えを聞く。

答 本市の公共交通ネットワークは、まちなかと郊外をつなぐ公共交通重要路線と、郊外から公共交通重要路線に接続するフィーダー交通を組み合わせながら構築することとしている。フィーダー交通の充実が、公共交通不便地域の移動手段の確保につながることから、地域住民が主体となり運行する地域運営交通の導入を促してきたところであり、さらなる運行地区の拡大を目指したい。
(市長)

市立病院の改修について

問 補正予算に一般病床4室を陰圧病床として改修する工事が計上されているが、建て替えが決まっている現行の施設に対し設備の改修等に関する投資をどこまで行うのか。

答 今回の改修は、感染患者の症状に応じた適切な処置を図るため、陰圧環境の整備が急務であると考えて行う工事である。病院の再整備にかかわらず、患者の生命と健康を守り、信頼される質の高い医療サービスを確保するための施設整備の改修や、昨今のコロナ対応など、公立病院として社会状況の変化に迅速に対応するための医療資源の投資は今後も必要と考えている。
(市長)

市立病院のデジタル化について

問 コロナ以前から続いている課題として、医療従事者の人手不足があるが、人手不足の解消と生産性の向上のために、オンライン診療や入院患者の状況掌握など、ICTを活用したデジタル化をどのように進めるべきと考えているのか。

答 デジタル化の推進については、システムの互換性など課題はあるものの、国の医療デジタル化推進の取組や他の医療機関の事例なども参考にし、医療サービスの向上や職員の負担軽減につなげたい。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 当初予算と人事、都市構想について
- 2 本市公共交通の在り方について
- 3 市立病院の建て替え方針と課題について
- 4 環境施策について



金沢市議会自由民主党議員会

黒沢 和規 議員 【代表質問】



金沢の文化に影響を与えた先人たちの顕彰について

問 前田家 4 代藩主・前田光高のように、これまで陰に隠れてはいたが現在の金沢の文化に少なからず影響を与えた先人たちを顕彰し、ふるさと偉人館を昇華した形で、金沢の文化・芸術等を一堂に会して知り、体験できるミュージアムのような施設を設けてはどうか。

答 金沢には、前田光高のように注目されることが少なかったたくさんの偉人がいる。ふるさと偉人館は、ふるさと学習の拠点として歴史、伝統、文化を学び、郷土愛を育むような施設であるが、コンテンツの更新などさらなる充実を図っていききたい。(市長)

住民に被害が及ぶおそれのある放置老朽建築物などへの行政の対応について

問 いずれ何らかの形で近隣住民に被害が及ぶのではないかと判断される、倒壊等の危険性がある放置建築物などについては、さらに踏み込んだ行政の対応が必要である。地域の個々の課題にも的確かつ迅速に対処し、解決することも市長の大きな務めではないか。



答 空き家対策について、個人の財産に行政措置を講ずることは、私有財産であることや財源の確保などの面で課題があり、慎重かつ適法な対応が求められる。引き続き、所有者に適正な管理を指導するとともに、管理不全の老朽建築物の抑制に配慮していききたい。(市長)

伝承伝統芸能・生活文化へのさらなる対応について

問 市民生活の中で育まれてきた習慣や風習、風俗などに基づき、地域で守り伝えられてきた生活文化について、行政として一歩踏み込んだ対応が必要ではないか。

答 市民生活の中で受け継がれてきた生活文化が失われつつあることは憂慮すべきことである。国の認定を受けた金沢市文化財保存活用地域計画の対象を、広義の生活文化を含めた歴史文化遺産としている。この地域計画の具現化の一つとして、地域のお宝登録制度を創設したい。(市長)

住民意識と「金沢方式」と言われる行政の在り方について

問 いわゆる「金沢方式」は、市民の古くからの共同連帯意識の発露であり、住民意識の高さを表すものとして理解してきたが、多様な価値観が醸成されてきている今日、このような考え方は維持できるのか素朴な疑問を持つ。市長はこの「金沢方式」について、どのような認識を持ち、今後の市政を進めていくのか。

答 私は金沢に来て「金沢方式」を知り、驚いた。公民館等の建設は行政が全額負担している自治体が多い中で、「金沢方式」が継承され大事にされてきたが、これから人口減少や少子高齢化が進展する中で、地域負担の見直しが必要との声もあると承知している。庁内横断のプロジェクトチームにおいて、「金沢方式」の課題などを整理し、今後の方向性を考えていきたい。(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 市長の市政担当への決意と思い及び金沢市政の目指すものについて
- 2 市長の市政に取り組む基本的姿勢について



日本共産党金沢市議員団

広田 美代 議員 【代表質問】



物価高騰と社会保障の削減について

問 4月の消費者物価指数は前年同月比、全国で2.5%、本市でも2.0%上昇であるにもかかわらず、4～5月分の年金は0.4%引き下げられ、この10年間で実質6.7%の削減である。さらに10月から75歳以上の医療費窓口負担は2倍に跳ね上がり、児童手当の特例給付5,000円も廃止される。これらは、市民にどれだけ影響をもたらすのか。対策を取る必要はないか。

答 国民年金では、本市において約15万4,000人の受給権者が影響を受けるほか、後期高齢者医療で2割負担に該当する人は国の試算を用いて約1万3,000人と想定している。また、児童手当の支給対象外となるのは特例給付対象児童の約半数の2,900人程度と見込んでいる。いずれも持続可能な社会保障制度の構築を目指し国会における議論を経て改正等が行われたものであり、市で対策を講じることは考えていない。（市長）

公共交通の充実について

問 新交通検討調査費に2,990万円の予算がついたが、バスの減便や廃止が相次ぎ、市民の移動が危機にさらされている中、市内中心部にLRTかBRTかといった議論はもはや破綻している。地域公共交通計画の策定に専念し、行政として市民の移動権や生活を守るために尽力すべきではないか。

答 新しい交通システムについては、検討委員会において経済社会情勢の変化も踏まえた議論を行っており、引き続き検討委員会での議論を続け、今年度末の策定を予定している第3次金沢交通戦略に反映できるスケジュールで今後の方向性を取りまとめたい。（市長）

子どもの医療費助成制度の拡充を

問 石川県が全国最低レベルの子ども医療費助成制度を一步前進させ、通院の対象年齢を3歳から未就学児までに引き上げ、さらに保護者の所得制限も撤廃するとした。県からの補助も増えるので、本市では18歳までも窓口での医療負担を完全無料化すべきだと思うが、どうか。

答 明年度予定されている県の補助拡大に伴う市の負担軽減分の8,500万円については、どのような形で本市の子育て支援施策の向上に活用していくか、これから検討していきたい。（市長）

就学援助制度の拡充を

問 今年度からパンフレット表面に「重要」の文字が入ったが、制度自体を知らない保護者もまだいる。文字通り重要な制度として保護者全員が認知し、ためらわず申請できるよう、希望調査を申請書に組み込み、全員に提出してもらう方法に切り替えるべきではないか。既に中核市では鹿児島市、長崎市、佐世保市が実施し認定率が増えている。

答 就学援助制度については、希望する世帯が申告漏れとならないよう、毎年4月に全小中学校の児童・生徒の保護者に対し、制度の案内チラシを配布するほか、市ホームページや新聞広報などで幅広く周知を図っている。また、新小学校1年生の保護者には就学前健診に合わせ制度説明を行っている。チラシについては改善に努めてきたが、今年度からはより保護者の目に止まるよう「重要」の文字を記載した。申請は任意提出であり、希望調査を組み込んだ全員提出への切替えは考えておらず、今後とも分かりやすい周知に努めたい。（教育長）

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 物価高から市民の暮らしと営業をどう守るか
- 2 5つの柱と本市の現状と対策
- 3 本市の平和の取組について
- 4 コロナ感染症対応について
- 5 本市の課題について



金沢保守議員会

栗森 慨 議員 【代表質問】



市長の姿勢と本市の諸課題について

問 市長は「親和力」をテーマに市長選を戦ったが、この言葉に込める思いと、市政にどのように「親和力」を生かすのかを聞く。また、前市長は清新で活力ある市政運営の確保に当たり、市長職に同一の者が長期間在任することによる弊害を防止するため、在任期間に関する条例の期間内で退任したが、どのように考えるか。

答 本市の持つ伝統文化の中に新しいものを受け入れ、新たな形を築くため、議会と意見交換しながら施策を積み上げる前市長の姿勢と、職員との議論を大事に、よりよい形にしていけることが「親和力」である。在任期間に関する条例については、まずは4年間市長職務に全力で取り組むことだけを考えている。(市長)

子育て支援について

問 市長選では、子育てに関する発言が少なかったように感じるが、どうか。一方、子育て支援医療費助成制度の対象が18歳までではなく15歳までなのは、県内自治体の中で本市のみだが、その理由と、社会保障の一翼を担うこの制度の整備なしに豊かさを求める施策に重点を置くことに違和感が無いか、また、財源が確保できないのかを聞く。全国一律のテーマだとすれば、総務省出身の市長は実態をどう国へ伝えてきたか。県内自治体ワーストワンから脱却することを求める。

答 これまでも担当副市長として、子ども生活応援プランの具現化などに取り組んできた。医療費助成について、自治体間でばらつきがあるのはどうかと思うので、国の制度として担保してほしい。本市としては、対象年齢引き上げに対し、財源が確保でき効果が確認されれば、検討の余地がないわけではない。(市長)

ウクライナ情勢について

問 ロシアのウクライナへの侵略に対する見解と避難民に対する支援体制を聞く。また、食品の相次ぐ値上げにより、学校給食の原材料費も値上がりしているが、対応を聞くとともに、穀物価格も高騰していることから、この機会に完全米飯給食を検討してみてもどうか。

答 我が国の平和と秩序を脅かし、国連憲章に反する行為であり断じて容認できない。避難民には本市の国際交流課を窓口として、各種手続の支援や、言葉や文化の違う本市でも安心して生活できる環境を準備している。学校給食は、国の臨時交付金を活用し、保護者負担を増やさず、国基準の栄養価を確保していく。米飯給食については地産地消の観点からも意義があり、小麦価格の上昇が続けば、パンからの振替を必要に応じ検討する。(市長)

市道の舗装状況と路面標示について

問 道路や路面標示の損傷は交通事故の要因になり人命に直結するが、道路の維持管理に関する市民からの要望の状況を聞く。また、老朽化が進む中、どのように維持管理し事故防止に努めるのか。

答 要望は増加傾向で、昨年度は6,000件を超えた。内訳は舗装のひび割れや陥没の補修、次いで側溝の修繕、区画線や防音柵の修繕である。増加する要望に対応するため、道路の損傷をスマートフォンなどを活用し24時間365日通報できるサービスを提供しているほか、クラウドサービスを活用した要望管理システムを今年度導入し、対応の迅速化や効率化を図り事故防止に努め、幹線道路の舗装修繕も計画的に進めていく。(土木局長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 市長の姿勢並びに本市の諸課題・6月補正予算案と主要施策について
- 2 新型コロナウイルス対策と経済対策の両立について
- 3 子育て支援について
- 4 ウクライナ情勢への対応について
- 5 市道の舗装状況と路面標示について



自由民主党金沢市議員会
野本 正人 議員



5つの「親和力」について

問 今日の時代に適応した新たな都市構想が必要な時期だと思うが、村山ビジョン策定についての意欲と、親和力で奏でる金沢・新たな都市像検討費の具体的な内容を聞く。

答 自分の地域を自分の言葉で語ることができるバックグラウンドをつくるのが文化であると考えており、そこに触れることができる人を育てていきたい。また本年度は、金沢の未来について意見交換を行い、有識者や各界各層で構成する策定委員会を設置し、都市像の案を取りまとめる。
(市長)

南部地区の行政課題について

問 日本郵便旧有松社宅の土地の取得及び将来的な利活用と、都市計画道路泉野々市線整備について、県に事業化を働きかけるなど早期の道路完成を目指してほしいが、前向きな所見を聞く。

答 南部地区にとってこの土地は、大変大切な場所と認識しており、引き続き子どもや高齢者に関わる施設ニーズを研究するとともに、所有者である国家公務員共済組合連合会と情報共有しながら方向性や動向を十分注視したい。また、都市計画道路泉野々市線では、既に85%の事業用地の取得を進めており、今年度は道路の詳細設計に着手する。国に対しては事業費の確保を要望し、県には、市の事業進捗を踏まえた早期の事業化に向け連携を強化したい。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 5つの「親和力」について
- 2 文化観光の推進について
- 3 本市の新しい交通システムについて
- 4 南部地区の行政課題について



みらい金沢
麦田 徹 議員



公共工事の早期発注について

問 今年度の予算は1月緊急議会で2か月前倒しされ、14か月予算として執行されることが議決されたため、例年より工事の早期発注が予想される。前年度と比べた執行済みの状況と、今後の発注予定を聞く。

答 2月から5月までの発注状況について、トータルでは17件、約6億4,000万円の増となっており、14か月予算の効果が現れていると考えている。今定例月議会の補正分を除き、現時点では6月から9月にかけて、昨年度より多い250件程度の工事を発注する予定である。
(総務局長)

ゼロカーボンシティについて

問 昨年の当初予算ではゼロカーボンシティという言葉が掲載されていたが、今年度の当初予算ではその文字が確認できなかった。今定例月議会で再度取り上げられたが、本市のゼロカーボンシティについて、市長の思いを聞く。

答 国が温室効果ガスの削減目標を見直したことは、カーボンニュートラルの実現をさらに推進していく転換期であると考えている。本市としても、これに呼応し、脱炭素化への取組をさらに進めることで、市民や事業者等と相互に連携、協力してゼロカーボンシティの実現を目指したい。
(市長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 本市発注工事について
- 2 新会社への譲渡について
- 3 環境施策について
- 4 地域の声から



公明党金沢市議員会
稲端 明浩 議員



公共施設整備に障害者の視点を生かす仕組みづくり

問 公共施設の整備・改修においてバリアフリーやユニバーサルデザインのノウハウを蓄積し、実務に生かす仕組みを構築すべきではないか。

答 これまでも市の施設建設や改修工事において、金沢市障害者施策推進協議会の委員である障害のある人等との協議を行っており、結果を蓄積してガイドラインへと発展させていくことは有意義だと考えているが、施設ごとに工法や形態が異なるなど共有できるノウハウの範囲などの課題もあることから、具体的な実務に生かす方法については、今後、検討していく。

(市長)

不登校児童・生徒への金銭的支援について

問 石川中央都市圏の市町が連携し、不登校児童・生徒のフリースクール等への通学支援を検討していくべきではないか。

答 今年度、フリースクールへの通所の理解につながる体験機会の創出活動に対し、支援することとした。今後も必要とする支援の充実を図られるよう、本市の不登校民間支援団体等連絡会や石川中央都市圏適応指導教室等連絡会等において丁寧な意見交換を行うなど、連携を密にする。

(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 公共施設のバリアフリーについて
- 2 がん検診受診率向上の施策
- 3 不登校の支援について



自由民主党金沢市議員会
橋本 光生 議員



原油価格・物価高騰について

問 原油価格・物価高騰について、本市の対策を聞く。

答 地域経済の再生と市民生活の安全・安心の確保に万全を期すため、国の緊急対策に積極的に呼応するとともに、五感にごちそう金沢宿泊キャンペーンの延長や事業復活臨時支援金の支給、中小企業資金借換え制度の創設、学校給食等の物価高騰対策及び福祉光熱費助成金の支給など、市民生活対策に必要な緊急所要の経費を盛り込んでいる。

(市長)

放課後児童クラブについて

問 本市における放課後児童クラブ設置数の現状と課題、今後の拡充と運営支援に向けた取り組み・抱負を聞く。

答 放課後児童クラブは市内に103か所あるが、地域によっては待機児童が発生し、支援員の確保も課題となっている。引き続き待機児童の解消を図るとともに、職員の処遇改善や、ICT化による事務負担の軽減を図るなど、放課後児童クラブの運営支援に努めたい。

(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 原油価格・物価高騰について
- 2 子ども・子育て支援について
- 3 子どもの貧困対策について
- 4 金沢市デジタル戦略について
- 5 GIGAスクール構想の推進について
- 6 いしかわ百万石文化祭2023について



日本共産党金沢市議員団
大桑 初枝 議員



農業について

問 コロナ禍で収入が減少し、支援を必要としている農家に対して支援制度をお知らせし、手続の手助けをすることも、農家を守る大切な施策だと思うが、農家への相談窓口を設けることはできないのか。

答 コロナ禍や原材料等高騰に伴う支援については、農業者に近い金沢市農協と金沢中央農協が窓口となり周知している。本市としても、両農協と連携して支援策の周知や就農者からの相談に対応している。
(市長)

子どもの貧困について

問 コロナ禍で、非正規で働く人は雇い止めや勤務日数の削減を余儀なくされている。さらに子どもがコロナに感染し、周りとの接触を避け、仕事も休んでいる独り親世帯は、支援もなく生活が行き詰まっている。そのような深刻な状況にある子どもや家庭ほど支援が届きにくい実態があり、地域で相談しやすい窓口体制の構築が必要だと思うが、どうか。

答 相談体制の充実については、困難を抱える子どもはもちろんのこと、高齢者や障害を抱える人をはじめ、地域住民が気軽に相談できる地域の身近な福祉相談窓口を全ての地区社会福祉協議会に設置するなど、地域での相談体制の構築を進めてきた。加えて子どもソーシャルワーカーを増員するなど、子どもに関する様々な支援体制の強化にも努めてきたところである。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 本市の農業について
- 2 子どもの貧困について
- 3 市営住宅について



自由民主党金沢市議員会
高 誠 議員



教育長への評価・期待について

問 野口教育長はこれまで10年間教育長として任務に当たってきたが、教育行政に係るこれまでの取組、成果及び今後について聞く。

答 毎年一貫して学校へ出向き、学校教育や生涯学習における振興基本計画の具現化を図るため、様々な施策を実践し、金沢の高い教育水準の確立を目指し取り組んできた。今後は時代の要請を踏まえ、学校における働き方改革の推進や家庭教育の向上に向けた振興策などについても取り組み、子どもたちの可能性を引き出す令和の日本型学校教育の実現に向けて全力を注いでいきたい。
(教育長)

中学部活動について

問 文部科学省が運動部活動の地域移行に関する検討会議提言を発表したが、本市の取組について聞く。

答 昨年度から校長会や中学校体育連盟、スポーツ協会等と意見交換を行ってきた。国の提言に沿って市長部局と役割分担を明確にしながら準備を進めたい。
(教育長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 教育について
野口教育長への評価・期待について／GIGAスクールの現状について／SDGs教育の推進について／体罰の現状と対策について／中学部活動の取組について
- 2 スポーツ文化について
地域スポーツについて／本市の施設整備の進捗について／新たなスポーツ競技施設について／キョ山医王山スキー場の現状と利活用について／パラスポーツ促進について／若手パラアスリート競技活動支援制度について



金沢保守議員会
新谷 博範 議員



デジタルミュージアムについて

問 本市が長年にわたり収集してきた美術工芸品は多数ある。デジタル技術の発展により環境が整っていればいつでもどこでも鑑賞できる時代だが、デジタルミュージアム実現への計画と公開予定を聞く。

答 本市所蔵品をデジタルアーカイブ化してインターネット上で公開するデジタルミュージアムについては、今年度、ワーキングチームを設置し、対象範囲や基準を整理する。また、発信手法を検討し、次年度以降の本格構築に向けて準備する予定である。
(市長)

部活指導の地域移行について

問 部活指導を地域に移行させることは、教員の長時間勤務を解決する打開策になると思うが、課題整理や受入れ体制づくりの計画を聞く。

答 国でまとめられた提言では、ニーズを把握するための調査の実施に加え、整理すべき様々な検討課題が示されている。受皿となるスポーツ団体との連携や指導者の確保など、多くの対応すべき課題があると感じており、今後成立予定の協議会において、計画的に体制づくりを進めたい。
(教育長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 デジタル田園都市国家構想
- 2 デジタルミュージアム
- 3 市営造林主伐
- 4 基礎疾患、障害、介護が必要な人へのコロナ対応について
- 5 中学校の部活指導の地域移行
- 6 公共交通支援
- 7 金沢湯涌福光線推進について



自由民主党金沢市議員会
喜多 浩一 議員



片町の再開発について

問 片町1丁目交差点から香林坊交差点までの約100メートル間にわたる、海側ブロック区域約0.4ヘクタールの再開発について、時期や内容、費用及び今後のスケジュールについて聞く。

答 今年度は再開発事業の都市計画決定を行い、次年度には具体的な内容を定める事業計画の策定や基本設計を予定しており、その後実施設計を経て建築工事に着手する。事業費や実施時期は事業計画の中で明らかにしていきたい。
(市長)



柿木畠のまちづくりについて

問 柿木畠地区のまちづくりプランについて、予定されている改定内容などを聞く。

答 まちなかのにぎわい創出の要となる地区であるが、車の迂回に伴う負担が想定以上であり、周辺住民の生活に少なからず影響が確認されている。新たな住民も増えていることから、歩行者をはじめとする交通の在り方など、より実効性のあるプランに見直していく。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 片町などの都心軸の再整備について
- 2 金沢市文化財保存活用地域計画について
- 3 地域でのDX化について
- 4 自治体連携などについて



自由民主党金沢市議員会
上田 雅大 議員



住宅用火災警報器について

問 住宅用火災警報器の設置が義務化されてから 10 年が経過し、電池切れや部品の劣化で反応しなくなるおそれがある。電池交換等の更新が必要と考えるが、点検や交換の促進についての取組を聞く。

答 今年度、新たに住宅用火災警報器の販売・取付ができる電気小売店など普及に協力してもらえ事業所を募集し、9月に消防局のホームページにてリストを公表することで、点検や交換の促進につなげたい。(消防局長)

北陸鉄道石川線 四十万駅前広場について

問 北陸鉄道石川線の四十万駅前の利便性向上のため、パーク・アンド・ライド機能などを備えた駅前広場空間を整備すべきではないか。

答 四十万駅前広場は北陸鉄道の所有であり、環境整備は一義的には北陸鉄道が検討すべきものだが、石川線の利用促進に向け何が必要であるか沿線自治体や北陸鉄道など関係者と研究していきたい。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 防災対策について
- 2 避難所について
- 3 蓄電池について
- 4 住宅用火災警報器について
- 5 街路樹の管理について
- 6 四十万駅前広場について
- 7 流域治水について
- 8 少子化対策について
- 9 電力の地産地消について
- 10 再生可能エネルギーの活用について



みらい金沢
喜成 清恵 議員



中学生の安心安全通学

問 中学生の保護者に対し、下校時の不安を解消するためのアンケートを取ったところ、保護者が安全対策として求めているのは「自転車通学の許可(34.5%)」「スマートフォン持参の許可(31%)」等だった。それぞれの対応はどうなっているのか。

答 本市ではスマートフォンの学校への持ち込みは原則禁止としているが、保護者から要望があり、登下校の安全対策などで学校長が必要と判断した場合には認めるなど、個別対応を行っている。自転車通学については、自宅から学校までの距離や道路の安全性などを勘案しながら学校長が許可しているが、距離にかかわらず生徒の安全性の確保が厳しいと判断した場合は許可していない。(教育長)

糸田道踏切道整備事業

問 今年 4 月、奈良県で視覚障害者が踏切内で立っている位置が分からなくなり、電車と衝突して死亡する事故があったが、糸田道踏切道では、踏切前と踏切内の点字ブロック設置について、どのように計画しているのか。

答 今般、国土交通省でバリアフリー対応の目安を示す指針の改定があった。今後、道路の詳細設計を行うに当たり、安全性確保の観点から必要性を鉄道事業者と協議して適切に対応していく。(土木局長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 中学生の安全・安心通学
- 2 子育て支援窓口のデジタル化推進
- 3 バス停木質空間創出事業
- 4 糸田道踏切整備事業



日本共産党金沢市議員団
森尾 嘉昭 議員



本市ガス・発電事業を民間に300億円で売却

問 本市ガス・発電事業を民間に300億円で売却したが、会計上の対応及びその財源の活用はどのように考えているのか。

答 今年度末に一般会計に繰り出す予定である。
(公営企業管理者)
譲渡益の使途について、中・長期的な視点で検討する。本年度最終補正予算で示したい。(市長)

河川法第26条違反のまま発電事業を譲渡した

問 国の「本市が河川法第26条の許可を得ずに工作物の設置を行ったことは法に反する行為であり、不適切である」(参議院国土交通委員会・令和4年6月2日)との答弁は重く受け止めなければならないが、見解を聞く。



新辰巳発電所取水口除塵機

答 13か所の工作物については、県が河川管理上の安全性を確認した上で、その存置を認めており、河川法第26条による許可手続を取ること自体は不要で、国にも確認していると聞いている。
(公営企業管理者)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 本市のガス・発電事業を譲渡したことについて
売却額300億円について／河川法に反したまま譲渡したことについて／譲渡契約の効力について



自由民主党金沢市議員会
荒木 博文 議員



医療的ケア児の支援について

問 医療的ケア児への支援拡充における医療的ケア児等コーディネーターが果たす役割及び医療的ケア児等を支援する市民団体やいしかわ医療的ケア児支援センターとの連携について聞く。



答 医療的ケア児特有の悩みや支援サービスについてどこに相談すればよいかなど、家族の切実な悩みに対して、医療的ケア児等コーディネーターを家庭や病院に派遣し、退院後の生活の相談や必要なサービスの利用調整などを行う。在宅生活や幼児教育、就学など子どもの成長・発達における課題に対して、いしかわ医療的ケア児支援センターや市民団体等の関係機関と切れ目のない支援連携に努めていく。(市長)

インクルーシブパークについて

問 インクルーシブパークとして再整備が進む玉川公園だが、市民には聞き慣れない言葉である。整備の進捗状況及び言葉の理解を浸透させるための広報戦略について聞く。



インクルーシブパークの遊具のイメージ

答 再整備については年度内の完成を予定しており、ホームページやSNSによる発信、完成式典の開催のほか、特別支援教育関係者と連携して市民に効率的かつ積極的にPRしていく。
(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 医療的ケア児への支援について
- 2 共生社会を推進する取組について
- 3 避難行動要支援者支援体制整備費について



創生かなざわ
熊野 盛夫 議員



アーツカウンシル金沢について

問 金沢芸術創造財団内に、アーツカウンシル金沢が立ち上がる。アーツカウンシル推進の草分け的存在である劇作家の平田オリザ氏は、文化における公的支援の際に大切なことは、金を出すが口は出さない、いわゆるアームズ・レングスの原則を第一に上げているが、この点について考えを聞く。

答 アームズ・レングスの原則とは、芸術と行政が一定の距離を取って独立性が保たれることだと理解している。金沢芸術創造財団内に開設することで、独立性を担保するとともに、文化芸術団体や教育機関などと連携し、幅広い情報収集による適切な助言を行える体制にしていきたい。
(市長)

子どもの習い事手当について

問 学習であれ、野球、サッカー、水泳などのスポーツであれ、音楽であれ、絵画教室等の文化教室であれ、子どもたちの習い事に対し、何らかの手当があってもよいのではないか。

答 茶道、素囃子など4つの子ども塾を開講していることに加え、ジャズの裾野拡大に向けたプログラムの実施など、伝統文化、芸術文化、音楽文化まで幅広い文化の体験メニューの提供を継続している。さらに、子どもの情操を育むため、かなざわ子育てすまいるクーポンや子ども体験活動支援クーポンを発行することで、多様な体験活動を支援していることから、習い事等の支援は考えていない。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 文化について
- 2 公共交通の議論について
- 3 市内バイク駐車場の状況と方向性について
- 4 学校図書館司書拡充について
- 5 金沢かがやきブランドについて
- 6 金沢市地球温暖化対策実行計画の見直しについて



多聞会
北 幸裁 議員



高尾城跡について

問 高尾城跡を視察した際、遺構の損壊を発見した。重要な史跡であるにもかかわらず、市



遺構が損壊された高尾城跡

の史跡に指定されていなかったことが残念だが、見解を聞く。また、高尾城跡に建つ石川県教員総合研修センターの移転を県に求め、その跡地に歴史公園を設置してはどうか。

答 今回の遺構の損壊は遺憾である。高尾城跡の主要な遺構のうち、調査が進んでいない箇所について市史跡指定を視野に入れた調査を行いたい。県教員総合研修センターについては、県が使用しており、移転や交換は考えていない。
(市長)

新交通システムについて

問 新交通システムはBRT（バス高速輸送システム）を導入してはどうか。また、北陸鉄道石川線のバス専用道路化を行い、白山麓から金沢港までを一本のBRT路線で結んではどうか。

答 現在、法定協議会で議論を開始したところであり、様々な可能性を関係者で共有している。石川線のBRT化は一つの提案として受け止めるが、アフターコロナを見据えた持続可能な交通体系を検討していく。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 高尾城跡について
- 2 新交通システムについて
- 3 北朝鮮による拉致問題について



創生かなざわ

玉野 道 議員



「親和力で奏でる金沢」と選挙公約の具現化について

問 本市の目指す未来像と世界に誇る文化都市・金沢の具現化、DX時代の新たな取り組みについて聞く。

答 新たな都市像では、多様な主体からの意見を反映し、心の豊かさが感じられる金沢を次の世代につなぐとともに、魅力を磨き高め、広げ、住みよさが実感できるまちを築きたい。また、市民が文化を身近に感じ、触れる機会を創出することで、世界に誇る文化都市を目指す。DXに関しては、業務改善や子育て支援窓口のデジタル化、デジタル社会を実現するためのDX推進計画の策定に係る経費などを補正予算に盛り込んでいる。
(市長)

保健所体制及び県・市連携の強化について

問 保健所の体制強化と県・市の連携並びに圏域形成と二重行政解消に向けた県・市の共通認識、今後の方向性について聞く。

答 保健所では、保健師等の増員と他部局から応援職員を派遣するなど体制強化に努めるほか、今後とも、県市の協力・連携体制を維持・強化していきたい。また、石川中央都市圏の取り組みを進めるとともに、広域行政を担う県と基礎自治体である市では、役割はおのずと異なるが、広域的な文化観光や広域交通など相乗効果を生み出す分野もあり、積極的に県との連携に努めたい。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 国の「総合緊急対策」への対応と「親和力で奏でる金沢」と選挙公約の具現化について
- 2 ウィズコロナ社会並びにDX時代における国・県・市の連携強化について



自由民主党金沢市議員会

福田 太郎 議員



ふらっとバス菊川ルート延伸について

問 県立図書館や金沢美術工芸大学が移転するに当たり、ふらっとバス菊川ルートを新県立図書館、新金沢美大前まで延伸してはどうか。公共交通不便地域の人や作品を抱えた美大生、図書館へ向かう子どもたちなどが乗り込み、おしゃべりをしながらバスに揺られる夢を毎日のように見るが、この光景こそが、地域コミュニティの醸成の一役を担うのではないか。

答 周回時間や運行間隔が長くなることで利便性が低下するなどの課題もあり、現時点ではハードルが高い。路線バスの乗り入れ状況の把握が必要である。
(市長)

金沢美術工芸大学移転跡地について

問 金沢大学工学部移転後、長期間にわたり巨大な空き校舎に地域の人々は悩まされた。来年度、金沢美術工芸大学が金沢大学工学部跡地に移転・開学するに当たり、金沢美大跡地の活用については金沢大学から取得の希望もあると聞が、活用策についてどのように考えているのか。

答 なるべく早い時期に取り壊したい。金沢大学と協議を進める中で、地域の人にも情報を共有しながら、金沢大学への売却も含めて手続きを行いたい。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 最低制限価格の運用について
- 2 金沢美術工芸大学跡地について
- 3 ふらっとバス菊川ルート延伸について

常任委員会連合審査会

自由民主党金沢市議員会



宮崎 雅人 委員

問 金沢未来のまち創造館の食の価値創造事業について、取組状況と今後の取組を聞く。

答 金沢未来のまち創造館 4 階の金沢食藝研究所において事業を行っており、これまで最新調理機器の利活用セミナーを開催したほか、食の研究活動としてオリジナルメニュー等の開発に取り組んだ。今後、技術指導講習会を開催し、金沢の食文化に関する情報や技能を共有し、多様なアイデアを探索する場として機会を提供していく。

(産業政策課長)

問 伝統文化に対する継承支援の制度について、コロナ禍での影響をどう見ているか。また、制度の拡充が必要だと思うが、どうか。

答 コロナ禍による発表・伝承の機会減少への対応は喫緊の課題であり、今回の予算の中で、イベントへの民俗芸能の派遣や、民俗芸能団体の講演会の開催や発表のための後継者指導も助成対象に加え、支援制度を拡充した。(文化財保護課長)

【質疑事項】

- ①食文化の推進について
- ②まちづくりと日本遺産への取組について



久保 洋子 委員

問 産後ケア事業において、コロナ禍前との変化及びデイサービス型、短期宿泊型それぞれの利用状況と現状を聞く。

答 令和3年度は延べ60人、元年度は延べ15人

の利用があった。そのうちデイサービス型は令和3年度が延べ40人、元年度が延べ11人で、宿泊型は令和3年度が20人、元年度が4人であり、利用者が増加している。コロナ禍で里帰り出産が難しいことが一因と考えている。(健康政策課長)

問 母子健康手帳アプリの機能の見直し強化内容及び保健指導との連携予定を聞く。

答 見直しでは、健診や予防接種等の母子保健サービスの案内について、より効果的に分かりやすく情報発信できるよう機能を強化する。また、母子手帳交付時にアプリを紹介し、定型的なことは動画配信することで、保健師は面談時、個別相談に専念できるようにする。(健康政策課長)

問 DX化推進の中、医療機関と母子保健にかかる医療データの扱いや行政活用について聞く。

答 乳幼児検診や妊婦健診など健康に関するデータは、令和2年度から順次マイナポータルを活用した情報連携を行っており、市民が自治体の保有する自分の健康情報を閲覧し、医療従事者と相談しながら健康管理・治療に活用できるほか、市町村間の連携により、転出した場合はその自治体がデータを確認できる。デジタル活用にて市民の健康増進を図る。(市長)

【質疑事項】

- ①包括的母子支援について
- ②かかりつけ助産師推進事業について
- ③妊娠出産育児支援強化事業について
- ④百万石まつりについて



前 誠一 委員

問 市総合体育館等において企業広告の募集を開始するが、その目的と対象施設は。

自由民主党金沢市議員会（つづき）

答 地元チームを支援したい企業等を募り、得た収入を財源として、市民との交流活動等の充実を図るために行う。対象施設は市民野球場と総合体育館を予定している。（スポーツ振興課長）

問 松根城跡、桐山城跡、堅田城跡及び田近越の整備計画を聞く。

答 松根城跡は、今年度は園路及び看板等の整備について実施設計を行うとともに、桐山城方面の眺望確保のため樹木調整を行う。小矢部方面は小矢部市と情報共有し取り組んで行く。桐山城跡は国や県と協議し事業に着手し、田近越は今後、近隣市町と情報共有し地域の活動にも協力したい。（文化財保護課長）

堅田城については、竹の除去や樹木の間引きを行

うなど、地域の健全な森づくりを推進していく。
（森林再生課長）

問 農業従事者にとって最も苦勞する作業は除草と水管理であり、特に中山間地は段差があるなど負担が大きく、最大の重労働である草刈りの軽減の為、防草シートを補助施策メニューに加えるべきだと思うが、今後の計画を聞く。

答 中山間地の農地管理は負担が大きいと承知しているが、経費が多額となるため、現在のところ市独自の支援は難しい。（農林水産局長）

【質疑事項】

- ①大型公共施設への企業広告について
- ②新市民サッカー場のネーミングライツ導入調査について
- ③本市の山間地に残る山城及び古道について
- ④中山間地対策について
- ⑤ジビエ工房三谷について
- ⑥米農家への支援計画

みらい金沢



田中 美絵子 委員

問 本市に設置されていたおくやみコーナーについて、撤去された理由と再設置に対する考えを聞く。

答 マイナンバーカードの申請及び交付の急増に係る混雑緩和策として、マイナンバーカード業務の窓口と兼用してきた。現在の状況では分かりづらく、設置当時の目的が十分に果たされていないことから、まずは新たなスペースでの設置を早急に対応したいと考えている。（市民課長）

問 防災士の資格取得後、自主防災組織に参加を促すよう、本市としてどのような対策を講じることができるのか。

答 各種研修会等への参加をこれまで以上に積極的に呼びかけ、その参加を通じて防災士間の交流を図るとともに、地域における防災活動の重要性を伝えていく。（危機管理監）

【質疑事項】

- ①おくやみ手続窓口運用費について
- ②かなざわコミュニティ防災土育強化費について
- ③男性の育児休業について



山本 由起子 委員

問 市内小中高等学校における平和教育の実施状況と今後の展望を聞く。

答 今年度は、全ての市立小中高等学校において、平和について学ばう活動が実施されることになる。児童・生徒には、様々な節目の日をきっかけとして、年間を通じて平和の尊さを学んでほしいと考えており、今後とも社会科や道徳等の時間を通じて国際社会の平和と発展に貢献する態度を身につけることができるように指導していきたい。（教育長）

問 市立工業高校での制服のリニューアルに当たり、生徒の性の多様性を尊重するような配慮を求めるが、どうか。

答 新しい制服については、性別を問わずブレザースタイルを基本とし、スラックス選択制など生徒の多様性への対応に配慮したデザインにする予定である。また、制服の購入選択においては、男子用、女子用という区別をなくし、Aタイプ、Bタイプという表示にする予定である。（市立工業高等学校事務局長）

【質疑事項】

- ①野口教育長4期目の抱負について
- ②金沢子ども科学財団と宇宙教育について
- ③多様性に配慮した制服選択について
- ④子どもの権利条約について

公明党金沢市議会



上原 慶子 委員

問 子宮頸がんワクチンは3回接種する必要がある、費用も高額になるため、自費で接種した人にとって助成は大変ありがたいものである。助成を受けるための具体的な方法と必要な書類について聞く。また、書類を紛失した場合はどうすればよいのか。

答 申請書のほか、領収書など接種に要した費用の分かるものと、母子健康手帳や予防接種済証など接種日や接種回数を証明する書類の写しを提出してもらう。接種日や接種回数を証明する書類がない場合は、接種した医療機関で証明書を作成してもらう必要がある。（健康政策課長）

【質疑事項】

- ①子宮頸がんワクチンについて
- ②かかりつけ助産師推進事業費について
- ③女性の健康づくりについて



源野 和清 委員

問 学習用タブレット端末を効果的に活用すべきであり、それには家庭におけるインターネット使用の環境、デジタル機器の使用に対する考え方を公教育の立場からどのように発信していくかが重要となる。親子で考えるデジタル機器の使い方促進について、展開時期とその具体的内容を聞く。

答 適切なデジタル機器の使い方や約束事は家庭事情により様々であり、各家庭で親子が話し合い、考え、決めることが重要である。家庭で話し合いをしやすいワークシートなどのツールをPTA協議会と協働で作成し、専門家の意見を聞きながら来年の1月頃に完成させ、ツールを活用した親子の話し合いの普及を図っていく。（生涯学習課長）

【質疑事項】

- ①1人1台学習用端末の活用について

金沢市議会自由民主党議員会



下沢 広伸 委員

問 本市はDX（デジタル・トランスフォーメーション）の担当課として、行政経営課と情報政策課を統合し、デジタル行政戦略課を設置し、各種取組を行っているが、市長としての自治体DXの考えを聞く。

答 人口減少時代に本市が持続的に発展していくためには質の高い行政サービスが必要であり、必要不可欠なツールがデジタルだと考える。デジタルによる変革、新しい発想と仕組みによる新たなサービスを創出し続けることが、社会課題の解決に必要と考える。（市長）

【質疑事項】

- ①DX（デジタルトランスフォーメーション）について



清水 邦彦 委員

問 ヤングケアラーの実態調査費が計上されているが、どのように調査を進めていくのか。また、ヤングケアラーについては様々な課題があり、本市がヤングケアラー支援に関する検討委員会を立ち上げて取り組むようだが、その進捗状況について聞く。

答 本年8月をめどに支援機関を対象に意識調査を予定しており、ヤングケアラー支援に関する検討会で調査項目等の意見集約をしているところである。（こども相談センター所長）

問 子どもたちがいる場所は学校であり、ヤングケアラーを早期発見するために、学校職員の啓発と研修が必要と考えるが、どうか。

答 教職員がヤングケアラーについて正しく理解することが、その後の支援につながると考えており、教職員に対する啓発と研修は大切である。引き続きヤングケアラーについての研修の充実を図り、教職員の資質と能力の向上に取り組んでいく。（教育長）

【質疑事項】

- ①ヤングケアラーについて

このほか、創生かなざわの玉野道委員が「給付金事業等のマイナポータルに関して」の質疑を行いました。

日本共産党金沢市議員団



森尾 嘉昭 委員

問 学校給食の無償化について国は、「各自治体において地域の実情に応じて検討いただくことがふさわしい」と述べているが、本市で無償化を実施する考えはないか。

答 中核市で第3子以降の給食費を一部無償化している等、無償化を実施している都市は全体のうちの4市にとどまっており、本市においても現時点で学校給食の無償化は考えていない。(市長)

問 泉本町地内に一日8,000食に上る学校給食共同調理場建設計画を進め、3年後の完成を目指している。さらにもう1か所巨大な共同調理場建設を打ち出しており、これは時代に逆行している。単独調理場は少なく、共同調理場ばかりになっているが、なぜこうした方針を取っているのか。

答 より安全な給食を継続提供していくためには、調理場の衛生水準や施設設備の機能性などをこれまで以上に高めていく必要がある。本市の単独校調理場は、いまだに湿式の床をドライ運用している上、空調設備の設置もできないほど老朽化が進んでいる。また、敷地面積等の関係から再整備も難しく、令和2年に策定した新たな学校給食調理場再整備計画の方針として共同調理場方式を基本としている。(教育次長)

問 ガス・発電事業譲渡に伴い、本市は北陸電力との電力受給契約を中途解約するとして、12億3,720万円の解約補償金を支払った。この経緯について、どう説明するのか。

答 昨年9月の譲渡関連議案の議決後、解約補償金に係る北陸電力との協議を踏まえ、覚書を本年1月末に締結した。その後、この覚書に基づき算出した解約補償金を含む予算案についての議決後、3月末までに補償金額と支払い方法を明示した覚書を締結したものである。(公営企業管理者)

【質疑事項】

- ①学校給食について
- ②ガス・発電事業譲渡に関して

金沢保守議員会



新谷 博範 委員

問 金沢市工芸品に関して、伝統産業を振興するにはその制作過程にかかる全ての事業者、職人を対象とした支援制度が必要である。伝統産業により生み出される金沢市工芸品の体系的把握の必要性和、職人組合を含めた支援制度を聞く。

答 職人の高齢化が進む中、後継者を育成し、技術を保存・継承する取組は重要だと認識しており、職人に対して奨励金の交付を行うほか、金沢箔や加賀友禅の技術振興研究所を通して、職人の技術向上を目指す支援を引き続き行っていく。また、金沢クラフトビジネス創造機構と連携し、工芸に関わる店舗や工房を記載したマップによりPRしているほか、金沢クラフト広坂や銀座の金沢での販売を通して、作品や作り手の情報発信の支援にも取り組んでいく。(市長)

問 公共施設の跡地利用における意思決定過程には、市民参加や地元の意見反映は不可欠である。行政の意思決定過程を明確化し、移転先整備と同時に並行で跡地利用を検討すべきだ考えるが、移転後の施設・跡地利用に関する見解を聞く。

答 跡地の利活用については、施設の所管部署が中心となって検討を進めている。しかし、敷地面積が広大であるなど、本市のまちづくりへの影響が大きい場合は、これまでも都市政策局をはじめ、関係部署を加えた体制を整え、移転先の整備スケジュール等も考慮し、利活用策を検討していくこととしている。今後とも、部局横断的に情報を共有するとともに、地元の声も聞きながら取り組んでいきたい。(都市政策局長)

【質疑事項】

- ①美術工芸購入基金
- ②金沢市工芸品
- ③斜面緑地の保全と育成
- ④公文書館の活用と市民公開
- ⑤金沢未来のまち創造館
- ⑥学校や施設移転に伴う跡地利用について

このほか、多聞会の北幸裁委員が「第一本庁舎と第二本庁舎との連絡通路について」の質疑を行いました。

常任委員会の要望事項

6月21日の本会議において、各委員長による委員長報告が行われ、下記のとおり要望事項が付されました。



総務常任委員会

高誠委員長

- 1 原油価格及び物価の高騰が市民生活や経済活動に大きな影響を及ぼし続けている中、今年度の実質予算規模は過去最大のものとなった。厳しい財政環境の中だが、市長が掲げる「親和力で奏でる金沢」の具現化に向けて、さらなる市勢の発展と市民福祉の向上に努めること。
- 2 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行動制限が緩和され、社会経済活動にも明るい兆しが見

え始めてきた。その中で、本市の財政運営については、計画的な繰上償還や財政調整基金への積立てといった、中期財政計画に沿った財政運営を実践するとともに、地方交付税や国の補助金など財源の確保に努め、財政の弾力性を確保すること。

- 3 公共交通の持続性確保のため、都心軸における新しい交通システムの導入方針を慎重に検討するとともに、公共交通の不便な地域に対しても、地域が主体となった地域運営交通などへの支援を行うこと。また、第3次金沢交通戦略の策定については、公共交通ネットワークの充実と公共交通優先のまちづくりを実現するため、住民とともに進めること。



経済環境常任委員会

上田雅大委員長

- 1 長期化しているコロナ禍の下、これからのウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた地域経済の再生を目指す施策を展開させるとともに、先行きが不透明な世界情勢の中、原油・原材料価格高騰などの影響を受ける中小企業等の不安解消に向け、実効性のある対策により一層取り組むこと。
- 2 加賀野菜をはじめとする金沢産農産物の魅力

発信、ブランド力向上及び販路拡大に結び付けるため、地産地消・食育の推進に努めるとともに、担い手の育成・確保に向け、農産物の品質及び生産性の向上を図る生産者や、新規就農者に対する支援に意を用いること。

- 3 気候変動対策として脱炭素社会への取組が急務となっている中、ゼロカーボンシティかなざわの実現に向け、温室効果ガス排出量の削減をはじめとした地球温暖化対策を積極的に推進させるとともに、事業系ごみや食品ロスの削減、プラスチック資源循環の促進といった環境負荷の低減に向け、市民や事業者と連携しながら諸課題の解決に努めること。



市民福祉常任委員会

麦田徹委員長

- 1 新型コロナウイルス感染症対策については、感染拡大の波が繰り返される中、市民の命、暮ら

し、健康を守るため、検査体制の強化を図るとともに、若年層や現役世代に対するワクチン接種の促進に向けた取組のさらなる充実に努められたい。また、コロナ禍に加え、昨今の円安局面、原油価格や物価の高騰が依然として続いていることから、各種助成金を迅速に支給するなど、市民生活に最大限寄り添うこと。

2 妊娠・出産期から子育て期における切れ目のない支援と子どもを育む環境の充実に、これまで以上に努めること。また、生活に困難を抱える家庭や独り親家庭が安心して暮らし、子どもたちが未来に向かって夢や希望を持ち、健やかに育つよう、今年3月に策定した金沢市子ども生活応援プランの具現化に向け、関係機関と連携を密にしながら取り組むこと。

3 団塊世代の全てが後期高齢者となる2025年を間近に控え、本市の地域性を的確に踏まえた地域包括ケアシステムの構築をはじめ、次期長寿安心プラン策定に向けた課題を検証することで、高齢者が住み慣れた地域で安全で安心に、かつ心豊かに暮らしていけるまちづくりの推進に意を用

いられたい。

4 ポストコロナを見据え、本市が培ってきた地域コミュニティの活性化をより一層推進するため、地域活動発信アプリのさらなる導入促進に努めるとともに、様々な地域活動団体等との連携により、持続可能なコミュニティ活動の形成を推進していくこと。

5 市立病院においては、コロナ感染対策・治療に引き続き取り組むとともに、公立病院経営強化プランの策定に向け、国・県が進める地域医療構想の見直し議論を踏まえ、持続可能な地域医療提供体制の強化が図られるよう、病院の再整備の在り方も含め、関係機関と連携しながら鋭意検討を進めること。



建設企業常任委員会

中川俊一委員長

1 ガス事業及び発電事業を譲渡したことに伴い、譲渡先の状況については引き続き十分に確認され、本市の責任を果たすとともに議会への報告にも意を尽くされたい。また、新たな企業局の体制で行う、人口減少社会の進展等を見据えた水道施設の再整備については、市民の利便性を損なうことなく、かつ、持続的に維持管理ができる体制

を踏まえた構想策定に意を用いられたい。

2 今年2月の東長江町地内における道路のり面崩落の本復旧工事を迅速に実施するとともに、市内の危険な箇所や注意を要する箇所に対して、防災パトロールを含めた災害の未然防止に継続的に意を用いられたい。

3 本市の景観が、自然、歴史、文化等に基づき形成されてきた経緯を鑑み、広告物についても、屋内・屋外問わず、一体的な景観誘導の実施に向け一層取り組まれるとともに、市民、広告主及び事業者に対し、経緯と趣旨を十分に説明し、理解を得られるよう努められたい。



文教消防常任委員会

喜多浩一委員長

1 いしかわ百万石文化祭2023の開催準備に当たっては、本市の実施事業はもとより、他事業についても県や文化団体等との緊密な連携に、金沢の幅広い文化資源の積極的活用について意を用いること。また、市民や観光客が身近に文化を体験できる機会の一層の充実に、文化都市金沢の魅力向上に努めること。

2 市民の安全・安心の確保に当たっては、全国的に多発している大規模な災害に備え、近隣自治体の消防本部と連携し、迅速かつ確実な応援体制の確立を図ること。また、防災備蓄計画の策定に当たっては、災害時の適切な運用に配慮するとともに、関係計画との整合を図るよう留意すること。

3 ICTを活用した教育に当たっては、一人一台学習用端末のさらなる活用を図るため、早急な学習機の更新に努めるほか、教員のICT活用指導力の向上を図り、個別最適な学びの実現をより一層推進されたい。

令和4年度 金沢市議会6月定例月議会 審議結果

■賛否などの態度が分かれた議案等（ ）については、議員別賛否一覧をご覧ください

※審議結果は、金沢市議会ホームページからもご覧になれます。

6月定例月議会の議案

議案番号	件 名	本会議の結果	
------	-----	--------	--

◇市長提出（議案24件、報告1件、諮問1件）

議案第1号	令和4年度金沢市一般会計補正予算（第2号）	可 決	全会一致
議案第2号	令和4年度金沢市一般会計補正予算（第3号）	可 決	賛成多数
議案第3号	令和4年度金沢市公共用地先行取得事業費特別会計補正予算（第1号）	可 決	全会一致
議案第4号	令和4年度金沢市水道事業特別会計補正予算（第1号）	可 決	全会一致
議案第5号	令和4年度金沢市病院事業特別会計補正予算（第1号）	可 決	全会一致
議案第6号	令和4年度金沢市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可 決	全会一致
議案第7号	金沢市議会議員選挙及び金沢市長選挙における選挙運動用自動車の使用等に係る公費負担に関する条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第8号	金沢市税賦課徴収条例等の一部改正について	可 決	全会一致
議案第9号	金沢市本社機能立地促進のための金沢市税賦課徴収条例の特例を定める条例の一部改正について	可 決	賛成多数
議案第10号	金沢テクノパークにおける企業立地の促進に関する条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第11号	金沢市児童館条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第12号	金沢市福祉健康センター条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第13号	金沢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第14号	「工事請負契約の締結について」の一部変更について（金沢市特別支援教育サポートセンター（仮称）、金沢市立中央小学校芳斎分校、金沢市立中央地区新中学校（仮称）特学分校、金沢市芳斎公民館及び金沢市立芳斎児童館建設工事（建築工事その1））	可 決	全会一致
議案第15号	「工事請負契約の締結について」の一部変更について（金沢市特別支援教育サポートセンター（仮称）、金沢市立中央小学校芳斎分校、金沢市立中央地区新中学校（仮称）特学分校、金沢市芳斎公民館及び金沢市立芳斎児童館建設工事（建築工事その2））	可 決	全会一致
議案第16号	「工事請負契約の締結について」の一部変更について（金沢市立中央地区新中学校（仮称）校舎整備工事（建築工事））	可 決	全会一致
議案第17号	「工事請負契約の締結について」の一部変更について（金沢市立中央地区新中学校（仮称）屋内運動場整備工事（建築工事））	可 決	全会一致
議案第18号	委託契約の締結について（高柳跨線橋耐震補強工事）	可 決	全会一致
議案第19号	財産の取得について（消防用特殊車両）	可 決	全会一致
議案第20号	財産の処分について	可 決	全会一致
議案第21号	市道の路線認定について	可 決	全会一致
議案第22号	市道の路線変更について	可 決	全会一致
報告第1号	専決処分の報告について（令和4年度金沢市一般会計補正予算（第1号））	承認	全会一致
議案第23号	金沢市副市長の選任につき同意を求めるについて	同意	賛成多数
議案第24号	金沢市監査委員の選任につき同意を求めるについて	同意	全会一致
諮問第1号	人権擁護委員候補者推薦に関し答申を求めるについて	諮問のとおり答申	全会一致

◇議員提出（議案9件）

議会議案第1号	コロナ禍の下で経済対策として消費税減税を求める意見書	否 決	賛成少数
議会議案第2号	大学生等への経済的支援を求める意見書	否 決	賛成少数
議会議案第3号	緊急事態条項に関する国会審議を求める意見書	可 決	賛成多数
議会議案第4号	我が国の平和と安全を確保するための防衛力の充実強化を求める意見書	可 決	賛成多数
議会議案第5号	地方公共団体情報システムの標準化に向けた支援を求める意見書	可 決	賛成多数
議会議案第6号	デジタル化を円滑に進めるための実効性ある支援を求める意見書	可 決	賛成多数
議会議案第7号	子どもの健康と安全を守るため体育の授業等におけるマスク着用に慎重さを求める意見書	可 決	全会一致
議会議案第8号	たばこ税を分煙環境整備に活用する制度の創設を求める意見書	可 決	全会一致
議会議案第9号	脱炭素化社会の構築への取組促進に関する意見書	可 決	全会一致

◇陳情（1件）

陳情第18号	政務活動費の金沢市条例改正についての陳情書	不採択	賛成少数
--------	-----------------------	-----	------

■賛否などの態度が分かれた議案等（議員別賛否一覧）

※○：賛成、×：反対、退：退席、欠：欠席、議長は採決に加わらないため、「／」と表示しています。

※所属会派は議決時点での会派で記載しています。

※会派の名称：公明党（公明党金沢市議員会）、金沢保守（金沢保守議員会）、市議会自民党（金沢市議会自由民主党議員会）、日本共産党（日本共産党金沢市議員団）、創生（創生かなざわ）、多（多聞会）

※各議員の賛否は、金沢市議会ホームページからご覧になれます。

6月定例会議会の議案

議 番	案 号	件	名	本会議の結果	自由民主党金沢市議員会										みらい金沢		公明党		金沢保守		市議会自民党		日本共産党		創生		多								
					橋本光生	荒木博文	上田雅大	中川俊一	坂本泰広	高橋誠	喜多浩一	前誠一	高岩勝人	久保洋子	宮崎雅人	松村理治	野本正人	福田太郎	横越徹	高村佳伸	田中美絵子	喜成清恵	麦田徹	山本由起子	中西利雄	上原慶子		稲端明浩	源野和清	秋島太	栗森博範	澤飯英樹	下沢広伸	清水邦彦	黒沢和規

◇市長提出（議案24件中3件）

議案第2号	令和4年度金沢市一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	金沢市本社機能立地促進のための金沢市税賦課徴収条例の特例を定める条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	金沢市副市長の選任につき同意を求めるについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◇議員提出（議案9件中6件）

議会議案 第 1 号	コロナ禍の下で経済 対策として消費税減 税を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×			
議会議案 第 2 号	大学生等への経済的 支援を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×			
議会議案 第 3 号	緊急事態条項に関す る国会審議を求める 意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		
議会議案 第 4 号	我が国の平和と安全 を確保するための防 衛力の充実強化を求 める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	
議会議案 第 5 号	地方公共団体情報シ ステムの標準化に向 けた支援を求める意 見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	
議会議案 第 6 号	デジタル化を円滑に 進めるための実効性 ある支援を求める意 見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○

◇陳情（1件）

陳情第18号	政務活動費の金沢市条例改正についての陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
--------	-----------------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

常任委員会の活動状況

金沢市議会では5つの常任委員会を設けています。定例月議会中には提出された議案の審査を行うほか、定例月議会が開かれていないときも、市政についての課題や市の計画、事業内容を調査しています。

委員会名	開催日	主な報告事項
総務常任委員会	4月25日	・コロナ禍における金沢市の魅力発信及び国際交流について ・令和4年度の入札契約制度等の改正について
	5月25日	・北部地区におけるAIデマンド交通の試験運行について ・公共施設等のキャッシュレス決済の拡大について
	6月15日	・令和4年度第1回金沢市総合教育会議の開催について
経済環境常任委員会	4月20日	・第71回金沢百万石まつりの開催について ・金沢市地球温暖化対策実行計画の改定について
	5月24日	・全日本高校生WASHOKUグランプリ2022の開催について ・クマの防除対策について
	6月15日	・金沢未来のまち創造館の今年度の活動業務（概要）について ・金沢競馬における走路照明設備の整備について
市民福祉常任委員会	4月22日	・新型コロナウイルスワクチン接種集中月間について ・ヤングケアラー支援に関する検討会の設置について
	5月23日	・令和3年度 女性相談支援室の相談状況について ・市立保育所の適地調査等の結果について
	6月15日	・令和4年度 新盆期間における野田山墓地周辺の臨時交通規制等について ・後期高齢者医療制度における窓口負担割合の見直しについて
建設企業常任委員会	5月2日	・水防月間について ・金沢市と金沢エナジー株式会社との連携協力に関する協定の締結について
	5月19日	・まちなかにおける特定屋内広告物の規制強化について ・令和3年度 企業局所管5事業販売実績
	6月15日	・「木の文化都市・金沢」市民シンポジウムの開催について ・がけ地防災パトロールの結果について
文教消防常任委員会	5月6日	・「若い力の演技」の金沢市スポーツ遺産追加認定について ・金沢市立学校における新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況およびオミクロン株が主流である間の当該株の特徴を踏まえた対応について
	5月24日	・米国ワールド・モニュメント財団による「旧森紙店」に対する支援の決定について ・金沢市立小・中学校の勤務時間記録の集計結果（令和3年度分）について
	6月15日	・新市民サッカー場におけるクラウドファンディング、ネーミングライツ導入可能性調査の実施及びスポーツ施設における企業広告の導入について ・金沢市地域防災計画の改定について

玉川こども図書館がオープンしました ～しっかり感染症対策をして行ってみよう！～

玉川こども図書館は、子どもと子どもの読書に関わる全ての人のための専門図書館です。平成20年11月に、日本たばこ産業株式会社金沢支店の建物を改修して開館し、たくさんの市民に親しまれてきました。

今年、中央地区教育施設等再整備の一環で、中央小学校、玉川こども図書館、金沢市公文書館の一体整備で新たに生まれ変わりました。新しい時代に即したデジタル技術を取り入れつつ、本を紹介した人と人との触れ合いを何よりも大切にして、世界にはばたく子どもとともに、未来をつくるみんなのための図書館を目指しています。



建物正面



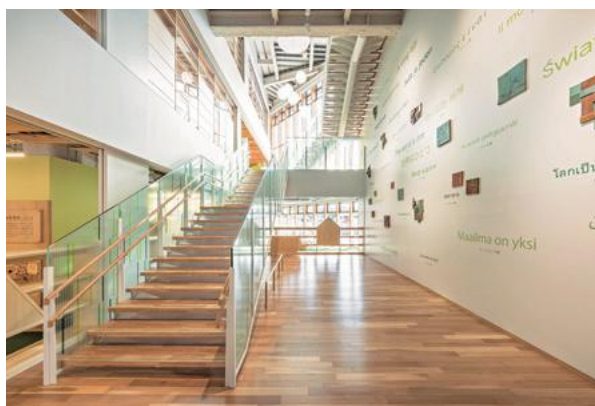
3階 図書コーナー



1階 木の広場



2階 図書コーナー



1階 ラウンジ



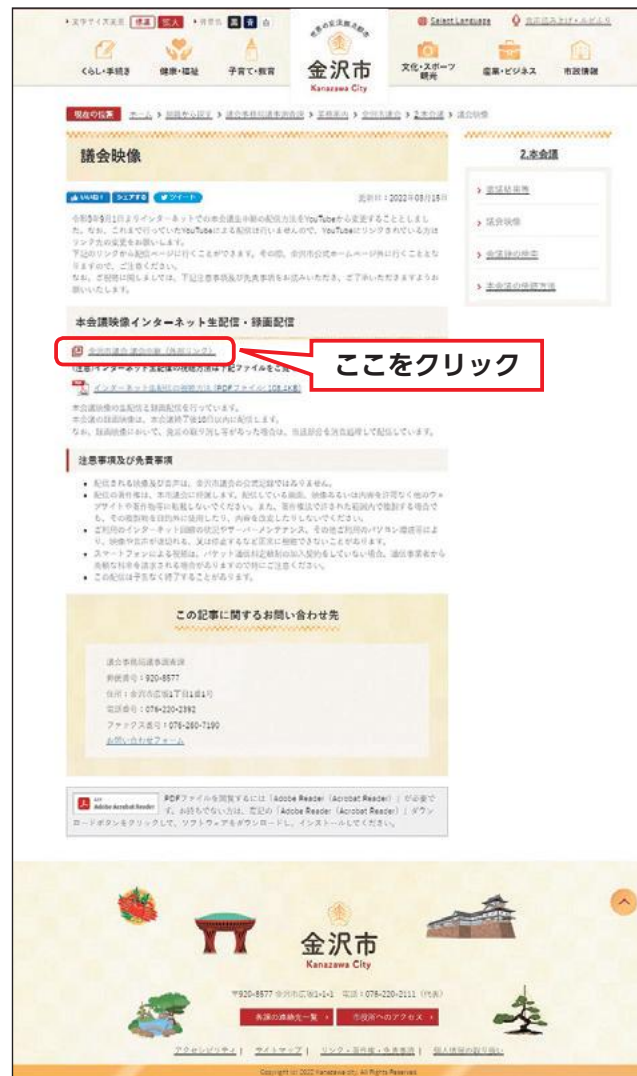
1階 はじめて絵本の広場

議会日誌

4月	
5日	議会広報委員会
20日	経済環境常任委員会
22日	市民福祉常任委員会
25日	総務常任委員会
5月	
2日	建設企業常任委員会、議会運営委員会
6日	文教消防常任委員会
10日	議会広報委員会
19日	建設企業常任委員会
23日	市民福祉常任委員会
24日	経済環境常任委員会、文教消防常任委員会
25日	総務常任委員会
27日	議会運営委員会
30日	都市交通特別委員会
31日	議会運営委員会
6月	
1日	デジタル戦略特別委員会
2日	令和4年度定例金沢市議会開会 金沢市議会6月定例月議会初日 本会議（議案上程・提案理由説明・質疑・討論・採決）総務常任委員会、経済環境常任委員会、市民福祉常任委員会、議会運営委員会、地球温暖化対策特別委員会、議会広報委員会
6日	議会運営委員会
9日	議会運営委員会
10日	本会議（質疑・一般質問）
13日	本会議（質疑・一般質問）
14日	本会議（質疑・一般質問）、総務常任委員会
15日	各常任委員会
17日	常任委員会連合審査会、議会運営委員会
20日	各常任委員会、議会運営委員会
21日	本会議（討論、採決） 議会運営委員会 金沢市議会6月定例月議会最終日

議会インターネット生中継の配信方法の変更について

令和3年9月1日よりインターネットでの本会議生中継の配信方法をユーチューブから変更しました。これまで行っていたユーチューブによる配信は行いませんので、ユーチューブにリンクされている方は、リンク先の変更をお願いします。次の配信は9月の本会議の予定です。



9月定例月議会の日程(予定)

9月2日(金)	本会議（提案理由説明）
12日(月)	本会議（質疑・一般質問）
13日(火)	本会議（質疑・一般質問）
14日(水)	本会議（質疑・一般質問）
15日(木)	委員会審査
16日(金)	本会議（討論・採決）

※日程は変更することがあります。

議会広報委員会

【委員長】喜多 浩一 【副委員長】稲端 明浩
 【委員】大桑 初枝 麦田 徹 高 誠
 下沢 広伸 栗森 慨